

年 組 名前：



ヘビがあしらわれた石
＝笛吹市一宮町橋立

ヘビ石 触って御利益を

笛吹市一宮町橋立の甲斐国総社甲斐奈神社（中川武仁宮司）は31日から、来年のえとが「巳」であることに合わせて、ヘビがあしらわれた石を境内に飾る。さい銭箱の隣に置き、参拝者が触ることができるようにする。

石は横約40センチ、高さ15センチ、幅12センチで、白っぽい1匹のヘビがあしらわれている。12年前に同神社の県外の崇敬団体が「神社を多くの人に知っても

笛吹の神社あすから境内に

らいたい」などとして奉納。これまで拝殿の中で祭っていたが「来年のえとに合わせ、初めて外に出して参拝客に触れてもらおうようにする」（中川宮司）という。

来年1年間は常時飾るといい、中川宮司は「ヘビは金運アップや子孫繁栄などの御利益があるとされる。石をなでて、良い一年を過ごしてもらいたい」と話している。

〈鈴木なつ美〉

(2024年12月30日付 山梨日日新聞14面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1

笛吹市の甲斐奈神社は、ヘビがあしらわれた石を境内のどこに置きましたか。

.....

問2

次の文章の①から④に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『境内に飾られている石は横約①センチ、高さ②センチ、幅③センチで、④1匹のヘビがあしらわれている』

①..... ②..... ③..... ④.....

問3

中川宮司は、ヘビには、どのような御利益があると話していますか。

.....